



「医療専攻」便り

新潟県立三条東高等学校 Vol. 4 (令和5年11月8日)

●第3回医療専攻講演会 8月31日(木) 16:00~17:30

講 師 新潟県立看護大学 山田 恵子准教授

演 題 「現代版、看護師の働く場所と働き方」

看護師の働く場所は病院や介護施設だけではなく、検診センターや保育園、訪問看護など幅広いこと、働き方にも、家族の状況などに合わせて変えていけることなど、まさに「現代版」を知ることができました。これから職業選択を考える上で、指標となるお話をしていただきました。



《生徒の感想》

今回の講演で学んだことは、看護師は様々な働く場所と働き方があり、自分にあったものを選択できる職業だということです。例えば訪問看護では患者さんに寄り添ったケアができます。一方、大規模な病院では細かいケアなどは難しいですが、組織やチームで行動するので分からないことは聞くことができます。また、病院でも急性期、慢性期、回復期などの違いがあり、それぞれ病床数や雰囲気、休暇の取り方などが違うことがわかりました。このように様々な仕事場があるので、子育てを終えた女性が再就職しやすい職業だと感じました。看護師は社会に出てから一生働き続けることが可能である職業であると思いました。しかし曖昧な気持ちではなく、しっかりとした目標や意志をもった人でなくてはならないと感じました。だからこそ、自分自身でどのような場所でどのような働き方をするのかしっかり考えて、目標や意志をもっておかなければならないと思いました。

《生徒の感想》

私は小児科の看護師に興味があったので、お話を聞くことができてとても嬉しかったです。大人の看護とは違い、ケアの方法やコミュニケーションの取り方などいろいろ違いがあり、驚きました。術前に不安や緊張があると心拍数や出血量に影響すること、院内学級との連携があることなど、子どもだからこそそのケアの仕方や1日の動きなど細かいところまで知ることが出来ました。

訪問看護では病院で働く看護師とは違い自分が主となってケアをしなければいけないということや、1対1で関わることによって、ケアを丁寧に行うことができるメリットがあるということを知りました。経験を積んでいる方から直接お話を聞いて気づきがたくさんありましたし、とても勉強になりました。自分にはどんな病院が向いているか、自分はどんな看護師として地域に貢献していきたいかなどを深く考えるきっかけになりました。

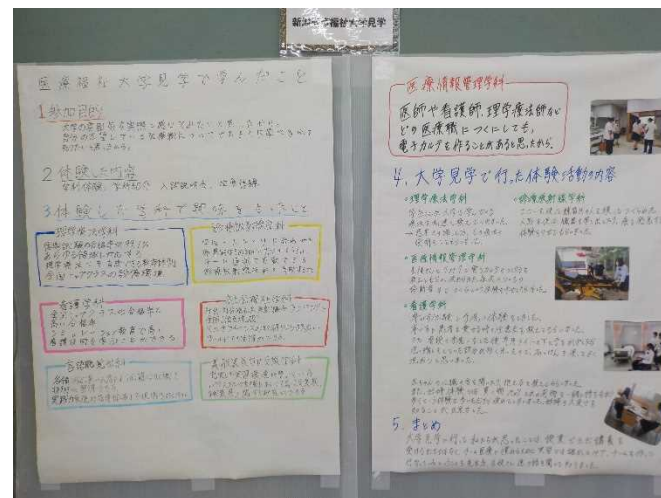
●東高祭(中間報告) 10月28日(土)

探究活動の中間発表と講演会・見学会の報告を展示しました。多くの方にご覧いただき、保護者の方から「熱心に取り組んでいる様子がよくわかった」「3月の発表が楽しみだ」などの声をいただきました。

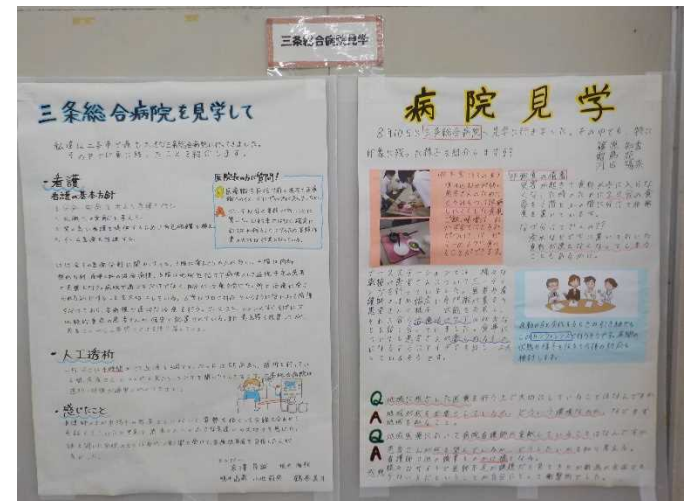
○探究活動の中間報告



○新潟医療福祉大学見学の報告



○三条総合病院見学の報告



○講演会の報告

